

今週のビルマのニュース  
2010年8月27日【1032号】

スーチー氏「NLDを支持するなら棄権を」

・民主化運動指導者アウンサンスーチー氏が「総選挙で国民民主連盟(NLD)に投票したかったという人は棄権したらどうか」と提案したと、24日に氏と面会した弁護人が述べた。氏はまた、国民は選挙プロセスをよく観察し、自由公正でない場合には声を上げるべきだと述べたという(25日AFPほか)。

NDF議長は立候補を取りやめ 選管委が妨害

・選挙管理委員会が国民民主勢力(NDF)の幹部4人に対し、過去に問われた反逆罪について赦免を求める申請を再度しなければ立候補できないと通告していた件で、同党のキンマウンスウエ議長は「再申請しても立候補は認められないだろう」として再申請せず、選挙への出馬をあきらめた(25日ミジマ)。

【背景】NDFは解党したNLDの元党員が結成し7月に政党登録を認められた。90年の総選挙でNLDが大勝利した際、現NDFの4人もNLDから当選したが、選挙結果を受けて軍政に代わる政府を樹立しようとしたことが反逆罪だとされ、禁固刑に服した。

岡田外相「色々努力してきたが全く顧みられない」

・岡田外相は20日の記者会見で、現状下で総選挙が行われた場合その結果を認めるかとの質問に対し「選挙が開かれ公正だったかと、その結果を認めるかとは別の話」とした上で「[結果が]無効というのはよほどのことがない限り他国が言うべき言葉ではない」と述べた。また総選挙の自由公正な実施に向けての日本の役割について「色々な努力をしてきたにもかかわらず全く顧みられないことは大変遺憾。今後は日本の考え方を伝える以上出来る余地は少ないかもしれない」と述べた(外務省発表概要)。

国境警備隊問題 軍政、ワ軍に新たな期限を提示

・ワ州連合軍(UWSA)高官によれば、軍政は同軍に対し「9月4日までに国境警備隊への編入に合意しなければ違法団体とみなす」と通告した。UWSAに応じる意向はない模様(26日ミジマほか)。

到着ビザ発給が休止へ

・5月に始まった空港での到着ビザ発給が9月から休止される。11月7日の選挙投票日を前に外国人の入国を制限する目的とみられる(25日共同)。

注目の記事

「ミャンマー東部の少数民族・カレン人難民 深刻な医薬品不足」毎日新聞8月26日夕刊、カラー

ビルマへの政府開発援助(ODA) 約束状況など

8月20日 ランゲーン(ヤンゴン)管区  
学校再建のため約11万ドルの草の根無償資金協力

イベント情報

・ドキュメンタリー『ピュア ビルマ難民キャンプの子どもたち』上映・講演会 アムネスティ岐阜グループほか共催(JR岐阜駅東隣 ハートフルスクエアG、28日10時半～)

・渋谷敦志写真展「明日があるから 国境に生きるビルマ難民は今」(川崎市アートセンター、28日～9月10日9時半～19時半。28日にトークショー)

・ビルマの歴史学習会 講師：根本敬(上智大学教授) 主催：ビルマの歴史を学ぶ会(千代田区外神田・世橋区民会館4階和室、29日14時～)

・在日ビルマ人製作映画『悲しみと涙の川エヤーワディー』(日本語字幕付)上映会(南大塚ホール、29日13時半～、16時～、18時半～/3回上映)

・メータオクリニック支援の会 現地スタッフ帰国報告会及び総会 発表者：田辺文医師、フォトジャーナリスト渋谷敦志氏(JICA地球ひろばセミナールーム303、9月5日15時～、報告会は16時～)

もっと詳しい情報は

☆Twitter公式アカウントはこちらです

<http://twitter.com/BurmaInfoJapan>

きょうのビルマのニュース(平日毎日更新)

<http://www.burmainfo.org/news/today.php?mode=2>

ビルマ情報ネットワーク

<http://www.burmainfo.org>

お問い合わせ

ビルマ情報ネットワーク 秋元由紀  
yuki@burmainfo.org 080-2006-0165

【来週は休刊】次号は9月10日に発行予定です。